

令和4年度

学習の手引き

第1学年



千葉県立市川工業高等学校

(定時制の課程)

第1学年生徒及び保護者 様

年度始めの確認事項について

新しい学年が始まるにあたって、学習面で確認しておきたいことがあります。下記の点についてよく確認して、悔いのない学校生活を送って下さい。

1. 出席について

- (1) 本校が定めた科目について、指導計画に従ってすべての授業を受けることが原則です。
- (2) 特に、どこの高校でも、すべての生徒が必ず受けなければならない科目があります。その科目は、次のとおりです。

普通教科・科目

教 科	科 目	単位数	教 科	科 目	単位数	教 科	科 目	単位数
国 語	現代の 国語	2	保健体育	体 育	7	芸 術 ※いずれ か1科目	音 楽 I	2
				保 健	2		美 術 I	2
地理歴史	地理総合	2	理 科 ※科学と 人間生活 および 物理基礎、 化学基礎の いずれか 1科目	科学と 人間生活	2	家 庭	書 道 I	2
	歴史総合	2					家庭基礎	2
公 民	公共	2		物理基礎	2	外 国 語	英語 コミュニケーション I	2
数 学	数学 I	2		化学基礎	2			

工業教科・科目 (※単位数は、各工業科によって異なる。)

科 目	工業技術基礎	課題研究	工業情報数理
-----	--------	------	--------

- (3) どの科目も、学年の授業時数の3分の2以上出席しなければ、その科目の授業を1年間学習したと認められません。
- (4) したがって、授業時数の3分の1を越えて欠席すると、成績を評価してもらう資格を失います。

2. 成績について

- (1) 1年間出席したと認められた科目について、成績の評価を受ける資格が得られます。
- (2) 各科目の成績は、試験の成績及び提出物やその他の学習状況により、総合的に評価されます。合格点は、学年末の5段階評定が2以上（100点法による成績が30点以上）です。

3. 進級・卒業について

- (1) 進級や卒業をするためには、すべての生徒が上表の科目を必ず受け学習したと認められることが必要です。
- (2) 卒業が認められるためには、合格点を得た科目の単位数の合計が74単位以上であることが必要です。 また、工業科の科目の単位数の合計は、25単位以上必要である。
- (3) また、進級や卒業にあたっては、特別活動についても教科・科目に準じて扱いますから、きちんと出席しておくことが大切です。

令和4年度 国語科「現代の国語」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	第1 学年
教科書	「現代の国語」(大修館書店)	副教材等	プリント

1 学習の到達目標

理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 学習の計画

月	育成する資質能力	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価材料
4 5	話す・聞く能力 書く能力 知識・技能	明日をひらく	白紙 考える技術 伝える・伝え合う	話し言葉の特徴をふまえて的確に話す。 情報が的確に伝わるように説明のしかたを工夫する。	授業に積極的に取り組んでいるか、定期考査の成績
6 7	話す・聞く能力 書く能力 知識・技能	的確に伝える	設計図を最初に渡せ！ 伝わるように話す わかりやすく書く	情報を収集・整理し、伝え合う内容を検討し、話し言葉の特徴をふまえて的確に話す。 目的や意図に沿った情報が的確に伝わるように説明のしかたを工夫し、自分の文章を整える。	授業に積極的に取り組んでいるか、定期考査の成績
9 10	話す・聞く能力 書く能力 知識・技能	意見を示す	発想を広げる 意見を書く プラスチック汚染からは逃げられない	話し合いの目的に応じて、適切な話題を決め、自分の立場や考えを明確にして、表現や進行を工夫する。 情報の妥当性・信頼性を吟味し、伝えることを明確にし、読み手の理解が得られるよう、論理の展開や構成を工夫する。	授業に積極的に取り組んでいるか、定期考査の成績
11 12	話す・聞く能力 書く能力 知識・技能	魅力的に伝える	「伝える」の先にあるもの 工夫して話す 魅力的な紹介文を書く 『家守綺譚』評	自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して、話しの構成や展開を工夫する。 目的や意図に応じて適切な話題を決め、文体や語句などの表現のしかたを工夫する。	授業に積極的に取り組んでいるか、定期考査の成績
1 2	読む能力	文章の論理をとらえる	自然と人間の関係をとらえて考える	内容や構成、論理の展開などについての的確に捉え、文章の要旨・要点を把握する。	授業に積極的に取り組んでいるか、定期考査の成績

3 評価の観点

知識・技能	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解し、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。
思考・判断・表現	【話す・聞く能力】話し言葉の特徴をふまえて的確に話して、相手の理解が得られるように工夫している。 【書く能力】情報が的確に伝わるように説明のしかたを工夫して、読み手の理解が得られるように工夫している。 【読む能力】内容や構成、論理の展開などについての的確に捉え、要旨や要点を把握している。
主体的に学習に取り組む態度	他者との関わりの中で伝え合う力を高め、実社会に必要な国語の知識を身に付けようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

欠席・遅刻をせずに、集中して授業に取り組んでください。

単位数	2	学科・学年・学級	工業科・1学年・A組
教科書	東京書籍 公共	副教材等	なし

1 学習の到達目標

人間と社会と在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1部第1章公共的な空間をつくる私たち	現代社会に生きる青年	1 青年期と自己形成 2 自己形成と社会への参画	行動観察 毎時間配布するプリント
			社会的な関係のなかで生きる人間	1 個人として尊重される人間 2 社会的な存在としての人間	行動観察 毎時間配布するプリント
				3 伝統文化のなかの人間	行動観察 毎時間配布するプリント
	5	第2章公共的な空間における人間としての在り方生き方	功利主義と幸福の原理	1 功利主義 2 義務論 3 公正 4 正義 5 先哲の思想	行動観察 毎時間配布するプリント
			中間考査		行動観察 毎時間配布するプリント 中間考査
	6	第3章公共的な空間における基本的原理	民主主義 立憲主義	1 世界の憲法と政治 2 憲法の役割と内容	行動観察 毎時間配布するプリント
			人権保障の意義と展開	1 人権の意義と歴史、今日の課題	行動観察 毎時間配布するプリント
第2学期	7	第2部第1章民主政治と私たち	私たちの民主政治	1 民主政治と地方自治	行動観察 毎時間配布するプリント
			期末考査		期末考査
	9	第2章法の働きと私たち	法や規範の意義と役割	1 法と社会規範 2 法の成立と適用	行動観察 毎時間配布するプリント
			市民生活と私法	3 市民生活と法 4 多様な契約	行動観察 毎時間配布するプリント
	10	第3章経済社会で生きる私たち	現代の経済と市場	1 私たちと経済 2 市場経済のしくみ	行動観察 毎時間配布するプリント
			市場経済における金融の働き	1 金融のしくみと働き 2 中央銀行の役割と働き	行動観察 毎時間配布するプリント
			中間考査		中間考査
	11	第4章私たちの職業生活	財政の役割と社会保障制度	1 財政の働き 2 社会保障制度	行動観察 毎時間配布するプリント
			働くことの意義と職業選択	1 働くということ 2 多様な職業選択	行動観察 毎時間配布するプリント
			労働者の権利と雇用・労働問題	1 労働者の権利 2 現代の雇用・労働問題	行動観察 毎時間配布するプリント

	12	第5章国際社会のなかで生きる私たち	国際社会のルールとしくみ 期末考査	1 国際社会のしくみ	行動観察 毎時間配布するプリント 期末考査
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5章国際社会のなかで生きる私たち	国際社会と平和主義 国際平和への課題	1 国際連合の役割 2 日本の平和主義 1 現代の紛争 2 国際平和にむけて	行動観察 毎時間配布するプリント 行動観察 毎時間配布するプリント
	2	第3部持続可能な社会づくりに参画するために	探究学習	1 テーマの設定 2 調査活動 3 発表 1 振り返り 2 レポート作成上の留意点説明	行動観察 毎時間配布するプリント 行動観察 毎時間配布するプリント
	3	第3部持続可能な社会づくりに参画するために	探究学習	1 レポート作成	レポート 学年末考査
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	定期考査での解答から事実に基づく知識の習得がはかられたか、統計資料や図表などの読み取りと解答によって、技能が獲得されたかを総合的に評価する。
思考・判断・表現	毎時間配布するプリントへの記述、定期考査での論述、レポート作成、発表、グループでの話し合いによって、思考・判断・表現を総合的に評価する。
主体的に学習に取り組む態度	ノートやプリント、レポートにおける記述、授業中の発言や態度などの行動観察によって、総合的に評価する。

4 評価の方法

定期テストと毎時間配布するプリント及びレポートで総合的に判断する。なお、意欲があり態度が良好な場合には、評価に加味する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

授業に集中し、発問やプリントの課題に応じて欲しい。社会問題に関心を持ち、疑問があれば自ら調べて欲しい。

単位数	2 単位	学科・学年・学級	工業科 1年
教科書	高校数学Ⅰ（実数出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

工業高校である本校の特徴を踏まえ、工業の専門教育科目との関連を考慮しつつ、数学Ⅰとして「数と式」「二次関数」「三角比」「集合と論証」「データの分析」の基本的考え方を知り、基本的な計算力と問題解決能力を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章 数と式	文字を使った式の決まり 整式	・文字を含む式の表し方の決まりを知る ・整式の基本事項の理解を深め、同類項が整理できるようにする。	行動観察 プリント演習
		1節 整式	整式の加法・減法 整式の乗法・展開	・同類項を整理することによって、整式の和や差が求められるようにする。 ・指数法則や分配法則を理解し、多項式どうしの乗法ができるようにする。 ・乗法公式を利用して、式の展開ができるようにする。	行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習
	5		因数分解 中間考査	・式の展開の逆の計算であることに注意し、因数分解できるようにする。	行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習
	6	2節 実数	平方根とその計算 実数	・平方根の概念を理解をする。 ・根号を含む式の加法・減法・乗法及び分母の有理化ができるようにする。 ・式の展開の逆の計算であることに注意し、因数分解できるようにする。	行動観察 プリント演習 行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習
第2学期	7	3節 方程式と不等式	1次方程式 不等式 不等式の性質 1次不等式 連立不等式 不等式の応用 期末考査	・方程式の意味や解法を学ぶ。 ・不等式の意味やその解の意味を学ぶ。 ・不等式の性質を学ぶ。 ・1次不等式の意味と解法を学ぶ。 ・連立不等式の意味を理解し、その解法を学ぶ。 ・不等式を利用して、応用問題が解けるようにする。	行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習
	9	2章 2次関数 1節 関数とグラフ	1次関数とそのグラフ 2次関数とそのグラフ	・中学校の復習をまじえ、関数の意味と1次関数のグラフについて学ぶ。 ・2次関数とそのグラフの意味を理解し正しくグラフが描けるようにする。	行動観察 行動観察・プリント演習
		2節 2次関数の値の変化	2次関数の最大値・最小値 2次関数のグラフと2次方程式	・2次関数のグラフを利用して、2次関数の最大値・最小値が求められるようにする。 ・条件のついた2次関数の最大値・最小値が求められるようにする。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解する。	行動観察・プリント演習 行動観察・プリント演習
	10				行動観察・プリント演習

			中間考査		
	11	第3章 三角比 1節 三角比 2節 三角比の応用	三角形 三角比 三角比の利用 三角比の相互関係 三角比の拡張 三角比の面積 正弦定理 余弦定理	・三角形の基本的な性質を確認する。 ・直角三角形の三角比について理解する。 ・三角比を図形の計量に利用できるようにする。 ・それぞれの三角比の関係を学び、図形の計量に活用できるようにする。 ・180° まで拡張した三角比の値を求められるようにする。 ・三角比を用いて、三角形の面積を求められるようにする。 ・正弦定理を学び、活用できるようにする。 ・余弦定理を学び、活用できるようにする。	行動観察 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習
	12	第4章 集合と論証 1節 集合	集合と要素	・集合の概念や用語を理解する。	行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5章 データの分析 1節 データの整理 2節 データの分析	統計とグラフ データの整理 代表値 データの散らばり	・目的に応じて資料を集め、集めた資料の仕方を学ぶ。 ・さまざまなグラフの書き方を学ぶ。 ・資料の傾向を、平均値、中央値、最頻値などの代表値を用いてとらえる。	行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習 行動観察・プリント 演習
	2		相関関係	・相関関係について理解し、相関関係を求められるようにする。	行動観察・プリント 演習
	3		学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。
思考・判断・表現	数学的な活動を通して、数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り多面的・発達的に考える。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善をしたりしようとする態度や創造性が見られる。

4 評価の方法

知識・技術、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価基準に従い、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

日常生活での課題を取り上げ、楽しい授業にしていきたい。

令和4年度 理科 「科学と人間生活」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	工業科 第1学年
教科書	高等学校 科学と人間生活 (第一学習社)	副教材等	なし

1 学習の到達目標

・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。

・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取りあげ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。

・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	地球や宇宙の科学	太陽系と地球	・太陽系の中心である太陽と、太陽系を構成する天体の特徴について理解する。 ・太陽系の惑星について、地球型惑星と木星型惑星の特徴を理解する。 ・太陽系の惑星のまわりを公転する衛星、特に月について理解する。 ・近年の太陽系探査の結果をもとに、小惑星の特徴と構造について理解する。 ・太陽や月のみかけの動きと、暦の関係について学ぶ。	授業態度 発問評価 提出物 定期考査
	5		中間考査		
	6	地球や宇宙の科学	自然景観と自然災害	・日本列島の特徴と、その周囲のプレートの分布と動きについて知る。 ・プレートの動きによって地震が発生するメカニズムと、地震による災害について理解する。 ・プレートの動きによって火山が噴火するメカニズムと、火山による災害について理解する。 ・台風、大雨、大雪など、日本で発生する気象災害について学ぶ。 ・防災について、科学的に考察する。	授業態度 発問評価 提出物 定期考査
	7		期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	生命の科学	ヒトの生命現象	・DNAの構造、タンパク質の合成、免疫のしくみ、多様な微生物と生態系でのはたらき、微生物と人間生活とのかかわりについて理解する。 ・遺伝子によって決められているヒトの形質に興味を抱き、DNAの構造や特徴、塩基配列の重要性について理解する。 ・ヒトの感覚について興味をもち、ヒトの眼の構造を学習し、視細胞の種類やはたらきについて学ぶ。 ・日常生活での視覚体験に関心を抱き、錯視の大図を通じて、視覚の成立や錯覚について、科学的に理解する。	授業態度 発問評価 提出物 定期考査
	10		中間考査		
	11	物質の科学	材料とその利用	・日常生活にみられる身近な物質の素材となる材料の種類、性質および用途について理解する。 ・金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について認識する。 ・鉄について、その性質や精錬方法、利用法などについて理解する。	授業態度 発問評価 提出物 定期考査

	12			・アルミニウムと銅について、その性質や精錬方法、利用法などを、実験・観察を通して科学的に理解する。 ・金属の再利用について学び、リサイクルの必要性を科学的に認識する態度を身につける。	
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	熱や光の科学	熱の性質とその利用	・熱の性質やエネルギーの変換と保存、有効利用について理解する。 ・セルシウス温度や絶対温度について理解し、熱運動についての知識を身につける。 ・仕事とエネルギーとの関係、ジュール熱と電力との関係について、式を用いながら理解する。 ・さまざまなエネルギーの形態や、エネルギー保存の法則について学ぶ。 ・可逆変化と不可逆変化について理解し、熱機関、永久機関の学習を通して、熱はすべて仕事に変えることはできないことを科学的に理解する。	授業態度 発問評価 提出物 定期考査
	2				
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・事象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。また、身近な事物・事象に関する観察・実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身につける。
思考・判断・表現	身近な事物・現象の中に問題を見だし、観察・実験・調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。
主体的に学習に取り組む態度	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、および主体的に取り組む態度の三観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

基礎的・基本的な科学知識を身につけ、工業の専門分野の学習にも役立てましょう。
身近な自然の事物や現象を観察してみてください。

単位数	1単位	学科・学年・学級	工業科 1年
教科書	新高等保健体育（大修館）	副教材等	

1 学習の到達目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解する。
- (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	A 体づくり運動	体ほぐしの運動	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組む。	行動観察
	5	B 陸上競技	短距離・リレー	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに種目特有の技能を身につける。 ・クラウチングスタート ・50m走、100m走の記録会を行う。 ・バトン渡し ・リレー	行動観察
	6	C ダンス	創作ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴や表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともにイメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をする。 ・個人や集団の動き ・緩急強弱のある動きで即興的に表現する。 ・列、円などの空間の使い方に変化をつけて即興的に表現する。 ・簡単な作品にまとめる。 ・作品発表会を実施する。 ・得点評価を相互に行う。	行動観察
第2学期	7				
	9	D 体育理論	スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代スポーツの意義や価値	スポーツの変容や我が国から世界に発展したスポーツがあることを理解する。 スポーツが国際親善や世界平和、共生社会の実現に貢献していることや、スポーツの文化的価値を失わせる行為としてドーピングがあることを理解する。	行動観察
第2学期	10	E 球技	アゴール型サッカー	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開する。	行動観察

第2学期	10	E 球技	イネット型 パドミントン	ウベースボール型 ソフトボール	・味方が操作しやすいボールを送る。 ・パスを出した後にパスを受ける動きをする。	行動観察
	11				・シャトルを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返す。 ・連携プレーのフォーメーションを身につける。 ・シングルス、ダブルスとも技術の向上を目指す。 ・リーグ戦で勝敗を競い、体力の向上を図る。	
	12				・タイミングを合わせてバットでボールを捉える。 ・ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げる。 ・ダブルプレーなど高度な守備を身につける。 ・ゲームを行う中で、チームプレーで助け合う意識を修得する。 ・ゲームを記録し、打率などを競う中で、運動の喜びを学ぶ。	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第3学期	1	B 陸上競技	長距離走	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、種目特有の技能を身につける。 ・自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競争したりす。 ・シャトルランテストにより、記録と体力の向上を目指す。	行動観察	
	2	F 武道	剣道	「礼に始まり礼に終わる」武道の精神を学ぶ。 ・充実した氣勢、適正な姿勢、竹刀の打突部、防具の打突部位、竹刀の刃筋を知り、1本の価値を学ぶ中で相手を尊重する態度を身につける。	行動観察	
	3					

3 評価の観点

知識・技能	運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解している。領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。

4 評価の方法

学習カードやワークシート、レポート、観察により、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つ観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

単位数	1単位	学科・学年・学級	工業科 1年
教科書	新高等保健体育（大修館）	副教材等	

1 学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	現代社会と健康	日本における健康課題の変遷	健康氏指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解する。	ワークシート分析 行動観察
			健康の考え方と成り立ち	健康の考え方がどのように変化してきたか理解する。	ワークシート分析 行動観察
			ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり	ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。	ワークシート分析 行動観察
	5		健康に関する意志決定・行動選択	健康を保持増進するには適切な意志決定・行動選択が重要であることを理解する。	ワークシート分析 行動観察
			現代における感染症の問題	感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。	ワークシート分析 行動観察
	6		感染症の予防	感染症予防の三原則について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			性感染症・エイズとその予防	性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。	ワークシート分析 行動観察
第2学期	7		生活習慣病の予防と回復	生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。	ワークシート分析 行動観察
			期末考査		
	9	現代社会と健康	身体活動・運動と健康	身体活動・運動と健康の関係について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			食事と健康	食事と健康の関係について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			休養・睡眠と健康	休養・睡眠と健康の関係について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			がんの予防と回復	がんには様々な種類があることやがんの発生原因について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			喫煙と健康	喫煙による健康への影響について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			飲酒と健康	飲酒による健康への影響について理解する。	ワークシート分析 行動観察
	10		薬物乱用と健康	薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			精神疾患の特徴	代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。	ワークシート分析 行動観察
	11		精神疾患への対応	精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。	ワークシート分析 行動観察

	11	安全な社会生活	事故の現状と発生要因	様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			交通事故防止の取り組み	交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解する。	ワークシート分析行動
			安全な社会の形成	安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解する。	ワークシート分析行動
	12		期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	安全な社会生活	応急手当の意義と救急医療体制	応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。	ワークシート分析 行動観察
			心肺蘇生法	心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。	ワークシート分析 行動観察
	2		AED講習	AEDの使用方法を理解する。	ワークシート分析 行動観察
			日常的な応急手当	日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。	ワークシート分析 行動観察
	3		学年末考査		

3 評価の観点

知識・理解	現代社会の健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。
思考・判断・表現	現代社会の健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え判断し、それらを表現している。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会の健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、関心をもち、主体的に取り組んでいる。

4 評価の方法

学習カードやワークシート、レポート、観察により、「知識・理解」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つ観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

--

令和4年度 芸術科 「音楽Ⅰ」 シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	工業科 1年次
教科書	高校音楽Ⅰ「Tutti+」(教育出版)	副教材等	

1 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽文化についての理解を深め、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。他者の個性を理解し、自らの感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	日本歌曲の表現	歌唱	・声を出すことの喜び、歌うことの楽しさを感じ、声が出る仕組みを理解しつつ、基本的な発声法を身につける。 ・歌詞の意味を理解し情操豊かな表現が出来るようにする。 ・題材〈校歌〉〈Caro mio ben〉など	観察・聴取 ワークシート
	5	音楽理論について学び、キーボードを用いて表現する	器楽	・調性・拍子・音名・音符の種類や長さについて学習し、基本的な読譜能力を身につける。 ・キーボードを用いて表現することで、自ら音楽を奏でることの喜びを理解する。 ・音色や調性の色彩感を感じ取る。 ・題材〈ユーデルワイス〉〈ぐるぐるピアノ〉など	
	6	オペラやミュージカルなど舞台音楽について学ぶ	鑑賞	・舞台音楽の総合芸術として観点を学習し、物語の時代背景や文化と関連させながら鑑賞する。 ・音楽と作品の関係性を理解し、多彩な味わいや美しさを感じ取る。 ・題材〈オペラ座の怪人〉〈フィガロの結婚〉など	観察・聴取 ワークシート 小テスト 実技テスト
	7		中間考査 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	コードについて学び、ギターを用いて表現する	器楽	・コードネームについて学習し、ギターを用いて演奏する。 ・旋律の裏にあるコード進行から和声感や和声の持つ色彩感を感じ取る。 ・グループを組み、情操豊かな表現が出来るようにする。 ・題材〈世界に1つだけの花〉〈夢のなかへ〉など	観察・聴取 ワークシート
	10		中間考査		
	11	様々な楽器・音楽史・管弦楽曲について学ぶ	鑑賞	・オーケストラで演奏される色々な楽器について学習し、その名称や特徴を理解する。 ・作曲家や作品の形式、時代背景等を学習。鑑賞し、オーケストラの持つ壮大な表現力を感じ取る。 ・題材〈交響曲第9番「合唱付き」〉〈惑星〉〈展覧会の絵〉〈モルダウ〉など	観察・聴取 ワークシート 小テスト 実技テスト
	12	ボイスアンサンブルに親しむ	歌唱	・歌を歌いながら、プラスチック製のカップで一定のリズムを取る。言葉が持つリズム性の感知と、人とのアンサンブルを体験する。 ・題材〈When I'm Gone〉	
			期末考査		

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	アンサンブルによって表現する	器楽・歌唱	・音楽理論やギター演奏の復習。 創造する能力、それらを表現する能力を高める。 ・ギター、キーボード、リコーダー、歌唱等、種類の違った楽器同士でアンサンブルを組み、その個性を認識しながら演奏をする。 ・題材〈ジュビター〉〈シチリアーノ〉等	観察・聴取 ワークシート 小テスト 実技テスト
	2	日本と世界の伝統音楽について学ぶ	鑑賞	・日本の伝統音楽と世界の伝統音楽の違いを理解し、両者の魅力を感じ取る。 ・尺八や箏などの和楽器の音色や楽曲を聴き、奏法を理解し、歴史や個性を学習する。 ・題材〈勧進帳〉〈八木節〉〈アリアン〉〈ケチャ〉など	
	3	限られた音や音階による作曲	創作	・キーボードを用いて限られた音や音階のみの作曲を行う。 ・自ら作曲したものを自らの手で譜面に書き起こす。 ・曲名や歌詞、和声をつけることにより、作曲した作品をより一層深みのあるものにする。 ・題材〈沖縄音階〉など	
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技術	・自国の音楽文化及び諸外国の音楽文化への理解を深め、文化的、歴史的背景も踏まえた広い視野で音楽を理解している。 ・より幅広く創造的な音楽表現をする為に必要な技術を身につけ、且つ表している。
思考・判断・表現	・音や音楽の構成、理論を理解し、それらがもたらす働きを感受しながら、自らの表現にそれらを生かすための思考をしつつ取り組んでいる。 ・音や音楽が醸し出す良さや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見出しながら自らの表現でその感性を生かそうとしている。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に、必要に応じて協働的に音や音楽に関わり、より良い表現やより深い理解のために積極的に取り組んでいる。

4 評価の方法

出欠席、授業内で行う実技テストや小テスト、そして「評価の観点」に記載した項目から、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

欠席や遅刻をせずに、積極的な姿勢で授業に参加をしましょう。

令和4年度 芸術科 「美術Ⅰ」シラバス

単位数	2	学科・学年・学級	工業科 1年次 選択者
教科書	高校生の美術1（日本文教出版）	副教材等	なし

1 学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な視点について理解を深め、創意工夫し、創造的に表す。美術文化に対する見方や感じ方を深め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	表現 絵画	・鉛筆画 ・模写・鑑賞 ・水彩「花」 ・スクラッチ画	・「何を描くか？」を自分で決めて鉛筆で表現する。 ・教科書の中から興味をもった作品を選んで実際に描いてみる。 ・自然物の観察と色彩感覚を養う。 ・細かい線による白黒表現や構成力を学ぶ。	・作品内容 ・授業での取り組み
	5				
	6				
第2学期	9	表現 彫塑	・粘土「マケット」 ・木彫「抽象彫刻」	・はじめに粘土で形のプランを練り、出来上がりを想定する。 ・木彫を通して、量感や面、バランス、動きなどを考えながら創作する。 ・プランどおりに作業を進めながら、創作課程での変更や見直し等の検討も重ねていく。 ・木目をきれいに見せ、磨きの精度、完成度を高める。	・作品内容 ・授業での取り組み
	10				
	11				
	12				
第3学期	1	表現 絵画 デザイン	・人物・風景・静物などの絵画やポスター、イラストレーションの中から選んで絵を描く。	・テーマに沿った表現方法と表現素材を選び、効果的に表現をしていく。 ・複数のエスキースを描き、アイデアを練り、構図と配色を考える。 ・色彩の基本の理解、配色について学ぶ。	・作品内容 ・授業での取り組み
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付けて、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

美術教育は、人間形成と創造性について大きくかかわるものです。
欠席や遅刻をせずに授業に積極的に参加しましょう。

令和4年度芸術「書道Ⅰ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	第1学年
教科書	書道Ⅰ 教育図書	副教材等	手本・プリント

1 学習の到達目標

- 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
 - (2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
 - (3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 学習の計画

	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
第1学期	4	書へのいざない	書写から書道へ 用具用材	・書写と書道の共通点と相違点について考える。 ・用具用材の種類と特性を理解する。	・提出作品 ・ワークシート ・学習記録の記録状況 ・行動観察
	5	漢字の書の世界	楷書の書 「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」 「顔氏家廟碑」	・漢字の書体の変遷について理解する。 ・古典の特徴を理解し、用筆法運筆法を理解する。 ・時代背景や書写内容、筆者との関わりを理解する。	
	6				
	7				
第2学期	9	漢字の書の世界	行書の書 「集王聖教序」 「蘭亭序」 「鳳信帖」	・漢字の書体の変遷について理解する。 ・時代背景や書写内容等を理解する。	
	10		刻字の学習	・印刀を用いて、表札を作成する。	
	11	漢字仮名交じりの書の世界	生活の中の書	・手紙や履歴書など実用書の書き方を理解する。	
	12				
第3学期	1	仮名の書の世界	「蓬萊切」 「高野切第三種」	・仮名の成立と変遷について理解する。 ・仮名の筆づかいについて理解する。	
	2	漢字仮名交じりの書の世界	創作	・漢字の書や仮名の書で学んだことを生かし、自分が意図する表現で作品制作をする。	
	3		鑑賞	・文字と余白、全体の構成を工夫する。 ・お互いの作品を鑑賞し、感じたことを話し合う。	

3 評価の観点

知識・技能	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度の3観点から評価基準に従い総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- ・遅刻をせず、授業開始までに書道室に着席しましょう。
- ・墨で衣服や教室、備品を汚さないように大切に使いましょう。
- ・作品未提出、出席日数が足りない場合は、単位認定することができません。

令和4年度 外国語科「英語コミュニケーションⅠ」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	工業科 1年
教科書	Amity English Communication (開隆堂)	副教材等	

1 学習の到達目標

英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動およびこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考え方を的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりする能力を育成する。

2 学習の計画

第1学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価 の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
4	身近にいる外国人に英語で声をかけることができる。たくさん和製英語があることに気付く。アルファベットの大文字小文字を確実に身につける。辞書の使い方がわかる。	Get Ready	QRコードを読み取り音声を確認しながら自分でも発音する。和製英語を正しい英語にしたり、英語になった日本語をローマ字で書く。辞書の使い方や品詞を理解し、実際に単語を調べる。	知	○	○	○	○	○	5	ワークシート
				感	○	○	○	○	○	5	ペアワーク
				思	○	○	○	○	○	5	
5	世界の絶景について「読み」「聞き」、自分の好きな場所や行ってみたい場所についてコミュニケーションを取り、「発表」することができる。	Lesson 1	be動詞と一般動詞の違いを理解する。疑問文や、否定文の作り方を理解する。ペアワークを行い、自分の好きな場所について英文文し、クラスで発表する。	知	○	○	○	○	○	15	ワークシート
				感	○	○	○	○	○	15	ペアワーク
				思	○	○	○	○	○	15	英文発表
6	ちびまる子ちゃんのマンガを「読み」、「聞き」、友情について考え、自分の意見を「発表」することができる。友人にお礼を伝えることができる。	Lesson 2	過去形の動詞について疑問文や、否定文の作り方、答え方を理解する。自分が大切にしている人について紹介する文を英語で書き、発表する。	知	○	○	○	○	○	15	ワークシート
				感	○	○	○	○	○	15	ペアワーク
				思	○	○	○	○	○	15	英文発表
中間 考 査	中間考査			知	○	○	○	○	○	6	リーディング力を評価する問題
				感	○	○	○	○	○	6	ライティング力を評価する問題
				思	○	○	○	○	○	6	
6	さまざまなダンスについて「読み」、「聞き」、それが持つ力について考えることができる。動作や状況を適切な時制の英語で「書き」「発表」することができる。	Lesson 3	進行形やさまざまな助動詞の意味と使い方を理解する。写真を見て、その状況を英語で説明し、発表する。	知	○	○	○	○	○	15	ワークシート
				感	○	○	○	○	○	15	ペアワーク
				思	○	○	○	○	○	15	英文発表
7	動物の絶滅について「読む」「聞く」活動を通して、絶滅から救うため自分にできることを英語で「話し合う」ことができる。	Lesson 4	不定詞について用法と意味を理解する。自分が好きな動物について英文を書き、発表する。	知	○	○	○	○	○	15	ワークシート
				感	○	○	○	○	○	15	ペアワーク
				思	○	○	○	○	○	15	英文発表
期 末 考 査	期末考査			知	○	○	○	○	○	6	リーディング力を評価する問題
				感	○	○	○	○	○	6	ライティング力を評価する問題
				思	○	○	○	○	○	6	

第2学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価 の 観点	領域					評価 項目 数	主な評価規準 (評価方法)
					聞	読	取	発	書		
9	チョコレート歴史について「読む」「聞く」活動を通して知る。大切な人に送りたいと思うプレゼントについて、理由とともに「書く」ことができる。	Lesson 5	動名詞について用法と意味を理解する。動名詞を使って、相手の好きなことを聞いたり、自分の好きなことを言ったりして、コミュニケーションを取る。	知	○	○	○	○	○	15	ワークシート
				感	○	○	○	○	○	15	ペアワーク
				思	○	○	○	○	○	15	英文発表
10	全国のさまざまな特徴を持つ高校について「読むこと」「聞くこと」を通して知り、自分の高校について学科や、クラブ活動などの紹介を「書き」「発表」できる。	Lesson 6	比較級や最上級の表現を理解する。いろいろな物を比較しながら、好きな物、欲しいものについてペアでコミュニケーションを行う。	知	○	○	○	○	○	15	ワークシート
				感	○	○	○	○	○	15	ペアワーク
				思	○	○	○	○	○	15	英文発表
中 間 考 査	中間考査			知	○	○	○	○	○	6	リーディング力を評価する問題
				感	○	○	○	○	○	6	ライティング力を評価する問題
				思	○	○	○	○	○	6	

11	セレンディビティとは何かを「読むこと」「聞くこと」を通して知り、身近にあるセレンディビティの例を調べて「書き」「発表」できる。	Lesson 7	現在完了形の意味と用法を理解する。現在完了形の疑問文と否定文を含む表現を使い、ペアでコミュニケーションを行う。	知 識 読 解 聴 解 説 明 語 彙 文 法 交 流 発 達 意 志	ワークシート ペアワーク 英文発表
12	サブールとはどんな人々なのか「読むこと」「聞くこと」を通して知り、平和についての考えを深め、ペアで自分の意見を「話す」ことができる。	Lesson 8	受動態について意味と用法を理解する。自分が大切にしている人や、物について受動態を使って書き、発表する。	知 識 読 解 聴 解 説 明 語 彙 文 法 交 流 発 達 意 志	ワークシート ペアワーク 英文発表
期末 考 査	期末考査			知 識 読 解 聴 解 説 明 語 彙 文 法 交 流 発 達 意 志	リーディング力を評価する問題 ライティング力を評価する問題

第3学期学習指導計画

月	育成する資質能力 (CAN-DO記述)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (言語活動等)	評価の 観点	領域	評価項目数	主な評価規準 (評価方法)
					国語 英語 数学 理科 社会 総合		
1	映画の特殊メイクにおいて世界で活躍するカズ・ヒロの生き方について「読むこと」「聞くこと」を通して知り、自分の好きな映画について「書き」「発表」できる。	Lesson 9	現在分詞と過去分詞の形容詞的用法について理解し、現在分詞と動名詞の違いに注意してペアでコミュニケーション活動を行う。	知 識 読 解 聴 解 説 明 語 彙 文 法 交 流 発 達 意 志	15	ワークシート ペアワーク 英文発表	
2 3	バングラディッシュでの小田兼利さんの生き方を「読むこと」「聞くこと」を通して知り、水の大切さについて考え、自分の生活を振り返って水の関わり方を「書く」ことができる。	Lesson10	関係代名詞の用法について理解する。関係代名詞を含む文の語順に注意してペアでコミュニケーション活動を行う。	知 識 読 解 聴 解 説 明 語 彙 文 法 交 流 発 達 意 志	16	ワークシート ペアワーク 英文発表	
学年末考査	学年末考査			知 識 読 解 聴 解 説 明 語 彙 文 法 交 流 発 達 意 志	6	リーディング力を評価する問題 ライティング力を評価する問題	

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて聞いてその内容をとらえる技術を身につけている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて読んでその内容をとらえる技術を身につけている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて伝え合う技術を身につけている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて話す技能を身につけている。	【知識】英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【技能】実際のコミュニケーションにおいて書く技能を身につけている。
思考・判断・表現	日常的な話題や社会的な話題について英語を聞いて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめている。	日常的な話題や社会的な話題について英語を読んで、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手の意図などを的確に捉えたり、自分自身の考えをまとめている。	日常的な話題や社会的な話題について、伝える内容を整理し、要点や意図などを明確にしながら英語で話し、情報や自分自身の考えなどを伝え合っている。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いた後読み取りして得られた情報や考えなどを活用しながら英語で話し、情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いた後読み取りして得られた情報や考えなどを活用しながら英語で書き、情報や自分自身の考えなどを適切に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・日常的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握しようとしている。 ・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じてとらえようとしている。	・日常的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握しようとしている。 ・社会的な話題について、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じてとらえようとしている。	・日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けようとしている。 ・社会的な話題について、聞いた後読み取りしたことを基に基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合おうとしている。	・日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えようとしている。 ・社会的な話題について、聞いた後読み取りしたことを基に基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合おうとしている。	・日常的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文を書いて伝えようとしている。 ・社会的な話題について、聞いた後読み取りしたことを基に基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文を書いて伝え合おうとしている。

評価の方法	定期テストや筆記の小テストだけでなく、授業中のコミュニケーションを取ろうとする態度、発音やアクセント、アイコンタクトなどを多面的に評価する。
-------	--

担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)	英語を読むことが苦手な人も、英語で相手とコミュニケーション取ろうとする態度を高く評価します。英語を通して、いろいろな世界を知り、考えを深めましょう。
--	--

単位数	3	学科・学年・学級	工業科 第1年次
教科書	工業技術基礎（実教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させ、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身につけさせる。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
		オリエンテーション	ガイダンス	1クラスを3班に分けそれぞれの項目について1年間で各班学習をし、次年度からのコース選択の参考とする。	
第1学期	4 5 6	基礎実習	(1) 機械コース 旋盤・溶接実習	・旋盤は材料を回転させ、刃物(バイト)に切り込みと送りを与え切断するしくみをもった工作機械で、現在最も多く利用されている。その基本的な知識と作業・操作の方法を習得する。 ・溶接は、金属加工において、金属を接合する方法に多数あり、その中で熱や圧力によって接合する溶接法の基礎的な知識とその作業方法を習得する。	・出席状況 ・発問への応答 ・取り組み姿勢 ・意欲 ・作品の提出状況 ・報告書の完成状況 ・課題の完成度
第2学期	9 10 11 12		(2) 電気コース 電子工作の基礎 屋内電気配線工事実習	・電子工作の基本となるハンダ付けをスズメッキ線を使用し、もち網からサイコロ状に組立その重要さを理解する。 ・電気工事の屋内配線において、家庭で使用されている電気配線の基本的な事柄や配線図の読み方、それにかかわる資格等の理解とについての学習と配線作業に配線工事についての技術の基礎・屋内電気配線工事の具体的な種類の接続の仕方・各種材料の使い方についての演習作業を繰り返し行いその基本を習得する。	
第3学期	1 2 3		(3) 建築コース 製図実習・模型作り	・製図用具の特性を理解し、十分に使い慣れる。 ・線をはっきりときれいに描くことができる。 ・製図に関するJIS規格のあらましを理解し、機械製図と建築製図の違いを知る。 ・鉄筋コンクリート構造物の模写製図を通して、基本的な建築図面の描き方を学ぶ。 ・書き順、寸法のおさえ方を理解する。 ・平面図を正確に美しく描く練習をする。 ・立面図と断面図を正確に美しく描く練習をする。	

3 評価の観点

知識・技術	工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。
思考・判断・表現	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

4 評価の方法

実習の作業過程で、観察・質問で適時適切に3観点による観点別評価を行う。実習作品や課題についてレポートをまとめさせて提出させ、その内容と考察について評価する。学習過程の形成的評価を活用する。生徒の自己評価、相互評価も参考とする。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

この科目は、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として工業の諸課題を適切に解決することに必要となる基礎的なことを学びます。各専門コースでの実習によって工業の見方・考え方を働かせ、実践的な技術を身につけて下さい。また、工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学んで行きましょう。作品の完成や提出物がありますので担当教員の指示を良く聞いて、特に安全面には気をつけて、事故防止を意識して集中して取り組んでいきましょう。

単位数	2	学科・学年・学級	工業科・第1年次
教科書	工業情報数理（実教出版）	副教材等	

1 学習の到達目標

1. 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。
2. 情報技術に関する知識と技術を習得する。
3. 工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	第1章	1. コンピュータの構成と特徴	・コンピュータの基本構成について理解する。 ・コンピュータの特徴について理解する。	課題プリント
	5	産業社会と情報技術	2. 情報化の進展と産業社会	・コンピュータが身のまわりのさまざまなものに組み込まれ、さらにインターネットなどに接続され利用されていることについて理解する。	発問に対する応答
	6		3. 情報化社会の権利とモラル	・知的財産権、プライバシーの保護、ネチケットなど自分と他人の権利を守ることやモラルの重要性を理解する。	授業態度・意欲
	7		4. 情報のセキュリティ管理	・コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解させる。	
			期末考査		考査問題
第2学期	9	第2章	1. コンピュータの基本操作	・コンピュータの正しい利用手続き、キーボードやマウスの基本的な操作について理解する。 ・作成したデータ保存やデータ利用に必要な補助記憶装置の取り扱いについて理解する。	演習プリント
	10	コンピュータの基本操作とソフトウェア	2. ソフトウェアの基礎	・ソフトウェアの分類とオペレーティングシステムの目的および基本操作について理解する。	発問に対する応答
	11		3. アプリケーションソフトウェア	・どのようなアプリケーションソフトウェアがあるか理解し、実際に使えるようにする。	授業態度・意欲
	12		期末考査		考査問題
第3学期	1	第6章	1. データの表し方	・コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。	課題プリント
		ハードウェア	2. 論理回路の基礎	・2値で演算や制御を行う論理回路の基本について理解させる。	演習プリント
	2		1. マルチメディア	・マルチメディアの概要と情報のデジタル化などについて理解させる。	発問に対する応答
		第9章 情報技術の活用	2. プレゼンテーション	・収集した情報をもとに、他人にわかりやすく効果的に考えを伝える方法を身につけさせる。	授業態度・意欲
	3		学年末考査		考査問題

3 評価の観点

知識・技術	情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技術を身につけている。
思考・判断・表現	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

4 評価の方法

【課題・提出物】 授業時配付の課題プリント・コンピュータ操作による演習課題の結果をプリントアウトした用紙などの提出
 【1・2学期の評価方法】 考査評価、提出物評価、学習の取組み状況による
 【学年末の評価方法】 1・2・3学期を通しての考査評価、提出物評価、学習の取組み状況評価などの総合評価

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

情報技術や数理処理を活用する力の向上を目指して、自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養ってもらいたい。実践的・体験的な学習活動を通して工業の各分野における情報技術の進展への対応や処理ができる力を身につけていきましょう。精密で高価な機器を扱う際は、機器使用のルールなどについては、担当教員の指示に従うようにして下さい。